

族 並 譜

梶山季之×ジェームス三木×青年劇場が贈る話題作！

百年前の韓国併合（一九一〇年）を知っていますか？
「創氏改名」「皇民化政策」の真実とは！
衝撃の舞台が、帰ってくる！！

梶山季之 = 原作
ジェームス三木 = 脚本・演出

出演 = 青木力弥 / 上甲まち子 / 葛西和雄 / 中谷源
広戸聡 / 吉村直 / 佐藤尚子 / 杉本光弘 / 船津基 /
武智香織 / 岡本有紀 / 八代名菜子

美術 ● 石井強司 照明 ● 横田元一郎 音楽 ● 飯島優
音響効果 ● 菊池弘二 衣裳 ● 宮岡増枝 舞踊指導 ● 白洪天
韓国語訳・指導 ● 金聖守 馬政熙 舞台監督 ● 荒宏哉
製作 ● 福島明夫 製作助手 ● 大屋寿朗 川田結子

2011年
5月13日(金)
14:00/19:00

前進座劇場

族譜

梶山季之 =原作
ジェームス三木
=脚本・演出

昭和15年、朝鮮・水原郡。日本政府による「創氏改名」政策の任にあたって
いる谷六郎は、改名を拒んでいる地主・薛鎮永の説得を命じられる。薛は、日
本軍に二千石の米を献納する親日家であったが、改名に応じる様子はない。
家を訪れた谷に、700年にわたって受け継がれてきたという“族譜”を見せ、
自分は一族の当主として“姓”を変えることはできない、と語る…。

※「族譜」とは、朝鮮韓国で一族の代々の当主が、家系図とともに、それぞれの時代
のできごとを書き残し子々孫々に伝えるもの。

※近年の研究成果により、実在したソル・デニョン氏は、日本の植民地支配に抵抗し
続けた抗日運動家であったことが判明しています。この演劇作品はフィクションで
あり、登場する人物、団体、事件等は創作上の設定であることをご了承下さい。



青木力弥

上甲まち子

葛西和雄

中谷源



広戸聡



吉村直



佐藤尚子



杉本光弘



船津基



武智香織



岡本有紀



八代名菜子

国家とは何か — ジェームス三木



日清、日露戦争に勝った日本は、朝鮮を保護する名目で支配下に置き、併合して日本の
領土にした。朝鮮人はみな日本人にされた。

太平洋戦争に勝ったアメリカは、日本を保護する名目で支配下に置き、極東の防波堤と
して米軍基地を各地につくった。

さすがに日米併合はできなかったが、もっと巧妙な手段で、日本人はアメリカ人にされ
つつあるのだ。

行儀のよかった日本人が、歩きながらホットドッグを食っている。千年以上もタテ書き
であった日本語が、公文書もメールも、ヨコ書きに一変した。街を歩けば喫茶店もバーも企業名も車の車種もみな英
語である。幼児のころから英語教育に熱中し、国語力の衰退は目を覆わんばかりだ。

湾岸戦争の戦費百億ドル負担、イラクへの派兵、米軍基地の移転費負担、軍隊を持たないはずの日本が、日米合同
軍事演習をやっている。それを合法化するために改憲をもくろむ。失敗つづきの衛星打ち上げも、軍事目的であること
が明らかになった。すべてはアメリカの世界戦略の片棒担ぎである。

更にいえば裁判の陪審員制度、意図不明の道州制と、アメリカのいいなりで、首相になりたい政治家は、アメリカ詣
てをしてゴマをする。日本人は無邪気なのか鈍感なのか。寄らば大樹の陰と思っているのか。

ご覧に入れる芝居のテーマは「国家とは何か」である。思い切り想像力をふくらませて戴きたい。



◇歴史を軽く見えてはいけない、目をつぶってはいけない。◇重いテーマだっ
たが、心に響く演出に大変感銘しました。◇この作品が平和で豊かな未来をと
もにつかっていくためのきっかけとなれば。◇戦争の時代にはまず「人権」が抹殺さ
れる。反戦平和こそ願い。◇凄惨な悲しみの中に抑制された言葉と姿の美しさが心
に残る。◇学校で教わらなかった「隠しておきたい歴史」とほんの少し向き合う
ことができたこと、感謝します。 — 2010年全国公演感想より —



撮影：蔵原輝人

2011年

5月13日(金) 前進座劇場

開演 14:00 / 19:00

※開場は開演の30分前です。

一般 5000円 (消費税 238円含む)
U30 3000円 (消費税 143円含む)
(30歳以下)
当日 各 300円増 (消費税 14円含む)

3月28日(月) 発売!

◎全席指定
◎団体割引・障害者割引あり
◎車椅子でご来場の方は準備の都合上、
必ず劇団までご連絡ください。

青年劇場チケットサービス
03(3352)7200

ticket@seinengekijo.co.jp
http://www.seinengekijo.co.jp/

JR 中央線・京王井の頭線吉祥寺駅
公園口より徒歩 13分 TEL0422(49)0300